

対象年度		令和 4年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート										
事務事業名		地域子育て支援センター運営事業						予算事業名		地域子育て支援センター運営事業費				
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	子ども・子育て支援法					
				03	02	04	22	経常経費	根拠法令					
総合計画体系		みんなで支えあい 安心して暮らせる地域福祉を目指そう 未来を担う子どもを育む環境づくり 子育て家庭への支援						事業の区分		主要事業				
								担当課係等		子ども福祉課 保育係				
		事業期間		継続 ( 年度～ 年度)										
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
・孤立しがちな育児を地域とともに子育てできる環境とする。 ・子育て関連の情報発信や子育て相談体制の充実を図ることにより、子育て家庭の育児負担を軽減する。							平成17年に開設。少子化や核家族化んも進行、地域社会の変化により、地域子育て支援拠点事業を推進（平成25から基金事業） 平成26年4月1日より子ども・子育て支援事業として国が推進している。							
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】							
結城市子育て支援センター（公立）の運営 開設日 月曜日～土曜日（祝日、年末年始除く） 開設時間 月曜日 9：00～16：00 火曜日～土曜日 9：00～16：30							未就学児及びその保護者  【事業をとりまく環境の変化】 核家族化の増加や地域の人間関係の希薄化により育児に関する相談相手が減少している。 新型コロナウイルス感染拡大により、感染症対策事業やオンラインを活用した業務等が増加している。							
【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】						
・子育て支援の情報提供 ・子育てに関する相談事業 ・親子で参加する活動、イベントの開催 ・子育てサークルへの支援 ・備品購入 はいはいひろばサークル おりたたみマット				・子育て支援の情報提供 ・子育てに関する相談事業 ・親子で参加する活動、イベントの開催 ・子育てサークルへの支援 ・備品購入 オゾン式保管庫				・子育て支援の情報提供 ・子育てに関する相談事業 ・親子で参加する活動、イベントの開催 ・子育てサークルへの支援 ・備品購入 対面式お散歩車 (一時預かり用)						
■事業費														
				R02年度		R03年度								
財源内訳	国庫支出金			808		277								
	県支出金			184		277								
	地方債			0		0								
	その他			0		0								
	一般財源			187		277								
歳入計（千円）				1,179		831								
歳出内訳	節（番号＋名称）				金額（千円）		金額（千円）							
	07 報償費				45		214							
	08 旅費				0		5							
	10 需用費				652		499							
	11 役務費				66		74							
	12 委託料				16		16							
	13 使用料及び賃借料				6		16							
	17 備品購入費				394		0							
	18 負担金補助及び交付金				0		7							
	歳出計（千円）（A）				1,179		831							
伸び率（％）						-29.51								
備考	総合計画 45ページ 予算書 93ページ													

# 令和 2年度行政評価シート

## ■指標

種類	指 標 名	単 位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	企画遊び	回	目標	45.00	45.00	45.00
			実績	17.00	0.00	0.00
	サークル数	件	目標	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	0.00	0.00
成果 指標	登録者数	人	目標	900.00	900.00	900.00
			実績	521.00	0.00	0.00
	相談件数	件	目標	2,500.00	1,500.00	1,500.00
			実績	950.00	0.00	0.00

## ■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	核家族世帯の増加や地域の人間関係の希薄化等により育児に関する相談相手が減少している中で、当センターは相談窓口や情報交換の場の提供ができる。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	民間施設でも可能
	手段の妥当性	A 妥当である	児童及び保護者への子育て支援の情報提供や相談窓口を行う場所としては妥当と考えられる。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	地域子育て支援拠点として果たす役割は大きいですが、保育所が保育士不足になる側面もある。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	受け入れ制限はない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	登録児童数は伸び悩んでいるが、アンケート調査では支援センターに支えられたとの声もあり成果は上がっている。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、臨時休所した。また、感染拡大の状況を確認しながら事業の中止や利用者の人数制限をした。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
新型コロナウイルスが拡大する中で休所せざるを得ない状況だった。茨城県の警戒レベルに合わせて、企画の中止や支援センターに入る人数などの制限などをしたが、電話相談やインターネット（z o o m）を使用して新たな子育てバックアップができた。新型コロナウイルス感染症の感染者が少なくなって、支援センターが再開した時は、再開するのを待っていたという保護者の声も多く、相談事や顔をみて話せることで安心感を得られ、子育てに悩む保護者には重要な場所であることを再確認できた。感染症が流行る時期であっても、安全に活動するには、どうしたらよいか事業ごとに課題を探ることが重要になる。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮しながら、衛生面と安全性に配慮し事業を行っていく。今回のウイルス対策を踏まえて、間接的にでも支援できることが分かったため、今までの事業を展開しながら、支援できる幅を広げて事業内容や広報活動に力を入れ、子育て支援を行っていききたい。また、公立保育所で実施している一時預かり事業について、保護者のニーズを把握し、子育て支援センターでの実施を検討していく。			

## ■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置	
方向性の具体的内容 保護者の育児に対する不安感や負担感の軽減や孤独化を防ぐため、子育て支援拠点の役割は大変重要になっており子育て支援センターの機能を強化していく。一時預かり事業については、引き続き検討していく。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。	